





寶永六世且

天不言以人示之新

法橋

今朝の梅園天れ口

不角

子代ハ門々々々々々松行

角鴉

癩若衆と流るる水

紅華

試メよえッ温公が孫文字

朋角

初葉の谷乃必を衣兩亭

止角

翠の所々や撫の糸揺て

露角

敷や右突三たり一室舟

紅華

彼廣夫ハまじ入上子様

露角

長擲有て飾と移られて

止角

刀毎七



好角夏  
 非角  
 朋角  
 不角  
 庸角  
 不秋  
 綿角  
 井田の字と同き  
 入柳始めおの字乃内(臨打)口  
 氷よりつと丸 之入  
 わそよ系隣子のらと結きて  
 双の塵と吹はさるすけいとき  
 ちの海子連や双の行連飾  
 唱よれ守随 梓チキリキ木の身  
 馬帽子をの足井や氷のぬら心  
 非角

夕タチたれやぬ知信ひま凡のしは秋くせ  
 指の比ハ草の丸を飾末  
 手持のらび色才氣が胴喜  
 法角 一 加真ス百類と好廉  
 一と年ぬ袋まよぬ衣とか  
 後縁カシとふとぬし布衣の油  
 江量カシのまよ 撥乃艶  
 馬の止進乃まよハまはむと  
 太宗のこつり  
 今昔やま昔と今昔乃備録肌  
 後カシもよとぬか箱布の思  
 馬カシのまよ申カシ柴カシのオヒ大カシ極カシ子  
 高角  
 非角  
 綿角  
 止角  
 五辛  
 不秋  
 朋角  
 綿角

○刀海七



糸の袂の祖又祖母たよ水雲

不 不

難<sup>中</sup>者よ伸<sup>中</sup>うらうちの愛の皴

庸 角

く<sup>中</sup>き<sup>中</sup>くる<sup>中</sup>柳子<sup>中</sup>あ<sup>中</sup>海<sup>中</sup>流<sup>中</sup>り

角 角

て<sup>中</sup>風<sup>中</sup>に  
コナカセ

え且正よき<sup>中</sup>帯<sup>中</sup>り<sup>中</sup>と<sup>中</sup>ま<sup>中</sup>性

日<sup>中</sup>う<sup>中</sup>り<sup>中</sup>の<sup>中</sup>始<sup>中</sup>く<sup>中</sup>送<sup>中</sup>に<sup>中</sup>胞<sup>中</sup>衣<sup>中</sup>と<sup>中</sup>り

流<sup>中</sup>キ<sup>中</sup>る<sup>中</sup>る<sup>中</sup>好<sup>中</sup>ま<sup>中</sup>と<sup>中</sup>し

子<sup>中</sup>返<sup>中</sup>り<sup>中</sup>い<sup>中</sup>も<sup>中</sup>那<sup>中</sup>そ<sup>中</sup>目<sup>中</sup>の<sup>中</sup>母<sup>中</sup>り<sup>中</sup>れ<sup>中</sup>母<sup>中</sup> 不 角

舞<sup>中</sup>と<sup>中</sup>し<sup>中</sup>飾<sup>中</sup>し<sup>中</sup>が<sup>中</sup>ご<sup>中</sup>と<sup>中</sup>ら<sup>中</sup>の<sup>中</sup>髪<sup>中</sup> 戴 角

流<sup>中</sup>心<sup>中</sup>の<sup>中</sup>割<sup>中</sup>の<sup>中</sup>弱<sup>中</sup>乃<sup>中</sup>系<sup>中</sup>遊<sup>中</sup>り 何 角

て<sup>中</sup>ら<sup>中</sup>き<sup>中</sup>地<sup>中</sup>の<sup>中</sup>り<sup>中</sup>白<sup>中</sup>れ<sup>中</sup>し 鞍 馬 山 何 角

吉<sup>中</sup>次<sup>中</sup>ハ<sup>中</sup>吉<sup>中</sup>事<sup>中</sup>舎<sup>中</sup>那<sup>中</sup>王<sup>中</sup>ガ 春 不 角

と<sup>中</sup>凡<sup>中</sup>ぬ<sup>中</sup>る<sup>中</sup>く<sup>中</sup>鳥<sup>中</sup>帽<sup>中</sup>子<sup>中</sup>の<sup>中</sup>漆<sup>中</sup>干<sup>中</sup>垂<sup>中</sup>て 載 角

あ<sup>中</sup>の<sup>中</sup>の<sup>中</sup>さ<sup>中</sup>り<sup>中</sup>よ<sup>中</sup>侍<sup>中</sup>る<sup>中</sup>が<sup>中</sup>ま<sup>中</sup>帆<sup>中</sup>之<sup>中</sup>宝<sup>中</sup>舟 全

あ<sup>中</sup>び<sup>中</sup>き<sup>中</sup>よ<sup>中</sup>ら<sup>中</sup>さ<sup>中</sup>り 軒 初 冬 何 角

周<sup>中</sup>の<sup>中</sup>夜<sup>中</sup>の<sup>中</sup>連<sup>中</sup>し<sup>中</sup>男<sup>中</sup>と<sup>中</sup>は<sup>中</sup>梅<sup>中</sup>あ<sup>中</sup>り 不 角

引 付

た<sup>中</sup>の<sup>中</sup>夜<sup>中</sup>一<sup>中</sup>ツ<sup>中</sup>越<sup>中</sup>え<sup>中</sup>り<sup>中</sup>し<sup>中</sup>卯<sup>中</sup>の<sup>中</sup>ま<sup>中</sup>雲 飯 前 山

も<sup>中</sup>を<sup>中</sup>解<sup>中</sup>き<sup>中</sup>し<sup>中</sup>す<sup>中</sup>り<sup>中</sup>の<sup>中</sup>ま<sup>中</sup>白<sup>中</sup>髪 籠 堂

冷<sup>中</sup>人<sup>中</sup>の<sup>中</sup>ま<sup>中</sup>ら<sup>中</sup>び<sup>中</sup>書<sup>中</sup>ま<sup>中</sup>ら<sup>中</sup>系<sup>中</sup>持 日 仙



手おろし河和晒は度換や親子後分名山

色ほのめありし庭の香五梅日処

有が中よるきの離の日処禮日処

逢まの放をいも日処壽の字分日処

跡をうきをむす日処まの毛日処

玄周前所致その日処鳳巾上日処

お積りて山姥と成りて

見とみる果のきこえの

八度めの襟をさす川板甲めと卯の雲陽角

跡をうきをむす全まの毛全

似赤蜂も果の全万葉のま全

櫻くや花の全ま全き全ま全の全ま全

赤削の万葉柳の全停全程全

連子く判口は全祝全歌全能全る全

真白の連子の全裏全や全活全音全の全ま全

まの全ま全の全ま全の全ま全の全ま全

張大鼓を柳の全ま全信全く全

初全の全ま全の全ま全の全ま全の全ま全

初全の全ま全の全ま全の全ま全の全ま全

元結全の全ま全の全ま全の全ま全の全ま全

元結全の全ま全の全ま全の全ま全の全ま全

元結全の全ま全の全ま全の全ま全の全ま全

元結全の全ま全の全ま全の全ま全の全ま全

元結全の全ま全の全ま全の全ま全の全ま全







え羽を我ものりやとく男 巢鴨 蛙子  
 勇ありしとて飾海を 竹笙角  
 簾よりれあふとて肥く 薰角  
 羽子板乃弦や男すくの所云達 笙角  
 床よきくると破く身と立飾 薰角  
 花石より紅縁風巾の伝きて 蛙子  
 蓮園より八十八と拾粒 薰角  
 目出とていしとて秀句 蛙子  
 地裏坊の餅初花や永き日 笙角  
 初日の出とて下り破や車井戸 不節  
 万葉の ホカ 指 ホカ 指 ホカ 集 △ △  
 揚侍の ケホ 指 ホカ 指 ホカ 集 △ △

羽列山形歳且組合

物中の流や所慶のさく 桂月堂 筒角  
 美の御持と飾る田作り 改角  
 佃よけは魚をくも鳴字の句身 向角  
 鰯釣の氣はや若書乃夷紙 陽月堂 全  
 美の縁尻て流の細申 菅角  
 大木とてたせむ独活よ毒り 改角  
 羽初の日や庭訓の去行 葎麻堂 全  
 乳を大若者と握るしの子 向角  
 髪掃り帯は響のぬと接て 菅角



鹿を獲ハ小女

大姉ハ小女

室代ノ葉名

元方ノ

海ノ

仙ノ

孫

和

それ

後

郭

梅亭軒

凡和

岩羊堂

駒仙堂

角

角

角

角

角

角

雲ノ巖ヒス山果乃山日哉  
行言動つ如侍  
空鑄ノ遠者  
調  
凡和

此国の第一以五穀

山松の出洲  
不改

宮上ノ  
善女

石と並小油  
了壺

信列歳且組合

松若  
野沢  
閑路

元首  
如流

雪消  
不磷

塚



馬子ら姿淺よりぬ 淺條  
 若子ら戸ふと妹子あり水 閑路  
 乃子白や草子まれ成た侍て 不磷  
 齒固や親仁の手柄鏡豆腐 無元  
 い杯つゝ心と指積と惚儀 不磷  
 歯度笑ふ跡山と花瓦の採て 草也  
 年神を信込ううよけいり 草也  
 大根仕上てと羽淺中 如流  
 鳥集見ると花の鳥さや子 閑路  
 乃子扱の絵と浦山とま婦中 無元  
 比瓶のうとと扱の扱の子 全  
 鷗合と中とさきととやめきて 全

表八句

初日新糸きき一年の矢の的 不磷  
 居と撰の執火が天定うと出 如流  
 蹴鞠の遊に教ふよき皆て 閑路  
 上庭のまゆり子等目の隈 下中  
 こころくととるつれ物来山前 丹袖  
 りの葉万の綿の包と玉高 政山  
 松独帚の盤の面と水の色 無元  
 夕の毛の羽のの煙をさる方 系也  
 吟大如月やまゝと五粒を子 閑路  
 吟小若縁よ七八十四五ととしと 不磷











去年の子と今朝半起をよみ  
 腰折し海を三方に撫キチ  
 春事花の徒に下まよ日丸  
 衣衣好布衣をさるまき代日丸  
 葉とら子掃ッ身日丸  
 隨月あね連致の交り日丸  
 多代や万錦の竹のさびの同日丸  
 不絶偏より仰流の餘味日丸  
 雪の舞や扇の身待て日丸  
 書物やいふはさるのま結日丸  
 花の球と都合日丸  
 浦嶋が鰐日丸  
 鮎の具子日丸

見よ産尻あまが志出ス日丸  
 まぐり長澄と耳の改年日丸  
 雪の舞日丸  
 去る年日丸  
 鳴るね小判の耳を暖日丸  
 ね二室や赤子緒の日丸  
 今も毛撥の日丸  
 揚屋日丸  
 赤日丸  
 田舎の梅日丸  
 田舎の梅日丸















後保保、皓齒の毒やとら嘆息 後府  
 片純を水蝶の様一虫 仙臺  
 ちまもや美了云の露のは角 日忌水  
 嘆きり子起りのいろは、福多中 日及作  
 成る眉よ女笑ふ、同く福多中 日  
 七袴の涙づくや、千里 日  
 けしざや家門他門の松飾 日安  
 威、門の教あつてなえ方 日  
 松下連理歯原と比瓶の門飾 止角内  
 獅子舞や長たのね、舞初 上後  
 せま婦白髪や流の止歯原飾 上後  
 伊勢海の海やと片妻の意来の初 嬰角

解て花をまゆゆ、二庭の後 日  
 入服下、善傷の色 日  
 ころも、百世、換儀と卵の真 日  
 小鏡餘、次子と古き石 日  
 白梅子似よ、向くは方の雲 日  
 初るや、白くも、獅子 日  
 ちまもや、女の笑ふ、多ク学 日  
 う佳き、舌の皺、地よ 日  
 新ま、と、福多 日  
 仁の福多、裁や 日

初母七



花の色は白くは 赤坂 梅曆 赤坂 駒尾神 日 通函

淡紅や赤気曆の 後及佐倉家 駒尾神 三

けき雲の赤衣いさ 日 牛の角 三

情のむや 日 民とあそぶ 日 牛代 三

折や牛誕生長うき 日 雲の 三

よ下のあこく 上田氏 初紀式 梅枝

方花が笑ふ 三 初 信士

初や 三 富士やかくて 信士

亥子も 三 牛起や 信士

と 桂氏 雲床編く 桂氏

川 竹村氏 初 共白

夜越スカ 共白

古の 杉井氏 今 杉井氏

人 杉井氏 水 杉井氏

天 水 産 水

後家 水 男猫抱 水

水 水 拍子 水

松 水 拍子 水

七 水 拍子 水

梅 水 拍子 水

初 水 拍子 水

起 水 拍子 水

世 水 拍子 水











一の目まゝ梅てめて〜 鏡縁 如臨  
 松根一飾〜ハね衣 井角  
 残雪の雪よ二階の戸を越 芦蛙  
 摺鏡の雪よ日おや、春新 艾角  
 奥は若きまて〜 厨裏ゆめ影玉 芦蛙  
 花のまゝ歌とて紫の余り 艾角  
 雪まゝの山井取取得 艾角  
 詩の流るゑいさ遠るを父母 少踏  
 今夕の〜 鏡縁よおまわく 井角  
 心行の〜 ありの〜 厨殿 全  
 伯の指雪雀組よ小玉置 之空

投雪と〜 娘一飾 素 山且  
 去幼の福井若狭よあつ〜 山且  
 公の徳唱呼 静く〜 志好  
 千この雪や〜 徳棚の五位前 志携  
 吟小 心月や 五七 徳質屋の宿拂 又角

年尾

雪ふれしはあは花を雪よまゝ〜 志携  
 梅と〜 雪よ〜 志携  
 雪ふれしはあは花を雪よまゝ〜 志携  
 雪ふれしはあは花を雪よまゝ〜 志携

白妙〜 志携の有りは 全



初懐紙字平仙

福曳や喜車ニカクのニカク纏子ニカク纏珍ニカク 庸角  
 まのニカク浮ニカクのニカク骨ニカク牌ニカクのニカクるニカク次ニカク 法格  
 ぬニカクしニカクきニカクのニカク牛ニカク蠟ニカク腰ニカクがニカクるニカクまニカク付ニカクて  
 日ニカクよニカク向ニカクのニカク月ニカク弓ニカク殿ニカクのニカク世ニカク徒ニカク早ニカク 庸角  
 邪ニカク鬼ニカクのニカクまニカクのニカクてニカク菜ニカク菓ニカクのニカク小ニカク囊ニカク 綿角  
 又ニカク殊ニカク四ニカク節ニカクのニカク多ニカク患ニカク八ニカク人ニカク 並 庸角  
 啼ニカクてニカク抽ニカクのニカク綿ニカクやニカク改ニカクらニカクしニカク猿ニカク係ニカク氏ニカク 全

慈ニカク氣ニカクのニカクまニカクのニカクつニカクてニカクまニカクまニカクをニカクちニカクまニカク 法格  
 此ニカク強ニカクのニカクまニカクのニカク弱ニカクのニカクまニカクのニカク弱ニカク 全  
 賢ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカク 綿角  
 高ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカク 全  
 強ニカク石ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカク 庸角  
 翔ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカク 全  
 月ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカク 法格  
 毛ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカク 全  
 毛ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカクのニカクまニカクのニカク後ニカク 綿角

初懐紙字平仙



平春

くくの年うらうらよすれぬや  
 角臨  
 卯日よまき花や袋をくちかたよき  
 飛川  
 隙毒尸園を廻りさむ金は梅  
 止角  
 丁鞋よ鶴の目くハ親海  
 一綿角  
 高殿山二王よまき山年志  
 便角  
 年うらや実子よ年うら鶴  
 教角  
 みるは清の水日はてる  
 不器  
 第春やたかみさうらま通  
 杖行  
 ようらうらうらうらうらうら  
 田舎よ一哉調ようらうら  
 惠角

みまきり床髪結の 咳氣狩 其  
 採尾  
 膝掃子たりの宿うせ 上庭事  
 採尾  
 眉作 紫屋とんころ年うら  
 収水  
 系政や年の矢斗いら色 損  
 洞角  
 鎗梅 行ノ歳 押  
 共白

か〜行〜思女行〜と〜春  
 妙よ後〜静成よとホ〜心  
 不竹  
 七災変を救〜こえつ〜の男  
 洞車  
 年の尾や結してハ又年の 結  
 袂者  
 年の尾よの字よ 採曆外  
 袂者  
 色〜乃衣ハ 結物  
 慮者  
 春よ思ハ 雲室の梅ハ 結  
 袂者



掃弦ス楳や、打休う竹筥本 法花  
 中よあさるるしとまよと待傘 紫角  
 篋巻結止齒並を白く 青角  
 多しとせよとせよと 全  
 世とせよとせよと 法花  
 角をせよとせよと 紫角  
 是ハ原き遠くや日の御日の脚 全  
 陽氣もし 青角  
 裏だまの 法花  
モミ

# 大巻軸

道遙堂遊角述

醜醜の 法花  
 鼻 紫角  
 新 法花  
 有 紫角  
 何 法花  
 何 紫角



追加

父子有親と

尾徳氏

松皮の如く替り成り代り

今之用

加々志と云ふ

仙凡

六十一年の如くに

同伊東氏

仕へる者か杖つき

雷水

周人のき樂の枝や

方水

徳儀下初志の室の

扣頌

宝永下教ハ六ツの

之凡

大廣る襖と云ふ

巴端

宛尔くと云ふ

曉凡

初旭

多毛の心と云ふ  
 止息  
 日  
 小田原  
 日  
 同  
 明て去る  
 始  
 陳之  
 日  
 同  
 元喜子  
 中村  
 小市  
 日  
 不中  
 日  
 同  
 之目  
 福  
 日  
 同  
 門松  
 全  
 日  
 赤首  
 陽角  
 日  
 同  
 年  
 尾  
 日  
 同  
 手  
 小  
 日  
 同  
 小鼓  
 本  
 日  
 同  
 大皇  
 安  
 日  
 同  
 夜  
 真  
 日  
 月



了代と孫子糸例と〜始 安中 宝山  
 喰積や海を土釜の押送 日 示志  
 家母子互友の孫宜うと〜男 日 傾枝  
 いのこ字少福、和合よ丑の市 法持内 扇仇  
 信より松吉ら〜法持内 佳水  
 いち〜法持内 掃と揚りて  
 とも〜と子持高〜物目の出 松溪  
 四十二と笑ス万葉の笑 全  
 丑のまきゆ〜れ〜の使あ〜 全  
 五日ツ新茶〜法持内 量や毛羽のま 全  
 卯さ〜法持内 随〜法持内 あり汁の秋り 全  
 根〜法持内 つ〜法持内 茶める梅と〜法持内 全

新茶抄

十一

己や納〜法持内 白幸の 蕪用 法持内 漢陽  
 せま〜人〜法持内 練〜法持内 あり候 全  
 身と〜法持内 挑の枝のま〜 全  
 娘と〜法持内 辰〜法持内 全  
 羽子扱で昔月見せ宿の孫庇 法持内 幽昌  
 歳暮 和子〜法持内 ま〜法持内 でお猿丸〜法持内 茶書 全  
 茶子ハ女の家よ〜法持内 所代〜法持内 雲 全  
 ま〜法持内 鬼扱〜法持内 新〜法持内 木の扱 全  
 け〜法持内 管紅菴〜法持内 店卸成初〜法持内 全  
 歳暮 眼と細〜法持内 角〜法持内 傾〜法持内 鬼の 全  
 枝葉〜法持内 葉〜法持内 葉の山茶花 全  
 鶴〜法持内 と度〜法持内 度〜法持内 徳の子と連て 全

新茶抄

十一



歳暮

鬼多子 瀧矢まじし

凡山

喜の門面よさらう三八

全

え海をうらうらあち

全

歳暮

帝命や弦の口へ鬼の

花林

跡もと娘のまゝと待替

全

探題探する梅のまゝと

全

吟大

二三重涼菊をた喜のまゝ

留念聖畏  
上虎角

吟小

と球突娘四ツ五ツ七八十

全